

令和3年度持続的な産学共同人材育成システム構築事業仮中間評価 面接評価（第2回事業委員会）の実施について

4校ともオンラインによる対応で、以下①～④（計60分※）の手順とする。

①面接評価の方法等の確認（5分） → 説明者（大学等）入室

- ・事務局から委員に、面接について説明。
- ・説明後、事務局からの呼び込みに従い、大学等が入室。

②説明者（大学等）からの説明（10分）

- ・大学等から、仮中間評価調書に基づき、選定時に通知された改善点への対応状況を中心とする取組の進捗状況、特色のある取組内容について説明。

③質疑応答（30分） → 説明者（大学等）退出

- ・書面評価及び大学等の説明を踏まえ、さらに明確にする必要があると思われる点等を中心に、端的かつ簡潔に質問。

④委員会意見交換（15分）

- ・書面評価及び面接評価を踏まえ、仮中間評価の結果として、付すコメントに盛り込むべき事項について意見聴取（評語は付さない）。

※運営拠点を担う東北大学のみ、②20分、③45分、④20分（計90分）

※大学等ごとの面接の間には準備時間20分程度を設ける。

※中間評価実施要項に定める、「各選定大学等の取組に利害関係のある委員」に該当する委員は、当該取組の評価には参加しない。

※委員の氏名は、評価結果の決定まで、大学等には通知しない。